

事故ゼロプラン(和歌山県)

～事故危険区間重点解消作戦～



- ・ 国土交通省では、事業の透明性・効率性を一層高めるため、交通事故対策において、事故データや地域の声に基づいた「事故ゼロプラン」の取り組みを進めていきます。
- ・ 「事故ゼロプラン」は、事故が多発する幹線道路を対象に、事故の危険性の高い区間を選定し、重点的に対策を進めていくものです。
- ・ 和歌山河川国道事務所・紀南河川国道事務所は、「事故ゼロプラン(和歌山県)」として県内の国が管理する国道から事故の危険性が高い区間(事故危険区間)を選定しました。
- ・ 今後は、これらの区間に対し、優先的、集中的に対策を実施していくことで効率的に交通事故を減少させていくことを目指します。

和歌山河川国道事務所
紀南河川国道事務所

事故ゼロプランの流れ

○事故危険区間の選定

本プランでは、事故データに基づくほか、地方公共団体や国民の皆様からの意見など、地域の声に基づき、また、和歌山県道路交通環境安全推進会議で意見を頂きながら事故危険区間を選定しました。

■事故データに基づく選定

- 事故が特に多く発生している区間
- 事故が多く発生しており、重大事故につながりやすい区間

■地域の声に基づく選定

- 交通事故の危険性が指摘された区間
 - ・警察から指摘された区間
- 通学児童の安全を確保すべき区間(自治体等から指摘のある次の区間)
 - ・通学路に指定されているが歩道がない区間
 - ・歩道が整備されれば通学路に指定の予定がある区間
- 歩行者の安全を確保すべき区間(自治体等から指摘のある次の区間)
 - ・人身事故が連続して発生している区間
 - ・歩道の不連続区間
 - ・駅、病院、公共施設等主要施設を結ぶ経路区間

○事故危険区間の選定

これらの区間の事故対策については、事故要因を明らかにした上で(PLAN)→(DO)→(CHECK)→(ACTION)の流れに沿って進めます。



和歌山県における事故危険区間

本プランにおいて、和歌山県内の国が管理する国道から事故危険区間を133区間選定しました。
そのうち、次のような代表区間(39区間)を下表に示します。

- 事故データに基づく区間については、死傷事故率のワースト20の区間
- 地域の声に基づく区間については、各市町村内で選定された、死傷事故率がワースト1の区間

和歌山県における事故危険区間(代表区間:39区間)

	No.	路線名	対象区間	交差点名
事故データ (件数)に基づく 選定区間	1	24	和歌山市西汀丁	西汀丁交差点
	2	24	和歌山市元寺町四丁目	北新橋西詰交差点
	3	42	御坊市湯川町	市道県事務所西門交差点
	4	26	和歌山市狐島	狐島交差点
	5	24	和歌山市嘉家作丁	元寺町五丁目交差点
	6	24	岩出市備前	備前交差点
	7	42	田辺市新庄町	田鶴交差点
	8	26	和歌山市延時	延時交差点
	9	42	御坊市藪	松原通交差点
	10	24	和歌山市小松原通一丁目	県庁前交差点
	11	42	御坊市湯川町	齊橋交差点
	12	24	和歌山市小豆島	小豆島交差点
	13	24	和歌山市西布経二丁目	宇治交差点
	14	24	和歌山市鳴神	花山西交差点
	15	26	和歌山市松江	御膳松交差点
	16	24	和歌山市新在家	-
	17	42	有田市宮崎町	無名交差点
	18	42	和歌山市西高松一丁目	高松交差点
	19	24	和歌山市有本	有本交差点
	20	24	和歌山市中之島	地蔵の辻交差点
地域の声を 反映した区間	21	26	和歌山市中	梅原交差点
	22	42	上富田町朝来	-
	23	42	串本町串本	潮岬西入口交差点
	24	24	紀の川市中井阪	下井坂交差点
	25	42	海南市築地	築地交差点
	26	24	岩出市溝川	那賀高校前交差点
	27	42	新宮市三輪崎	-
	28	42	御坊市湯川町	-
	29	42	那智勝浦町湯川	-
	30	24	橋本市高野口町名古屋	-
	31	42	白浜町日置	-
	32	42	有田郡広川町大字井関	-
	33	24	伊都郡かつらぎ町妙寺	-
	34	42	みなべ町埴田	-
	35	42	印南町西ノ地	-
	36	42	有田郡湯浅町大字吉川	-
	37	42	有田郡有田川町大字小島	-
	38	42	日高郡由良町中	-
	39	42	すさみ町江住	-

※ 和歌山県内の国管理の国道【国道24号、26号、42号】

